

1 基本情報	
施設名又はグループ名	指定管理者名及び団体概要
多摩丘陵グループ	(指定管理者名)公益財団法人 東京都公園協会 (団体の概要)都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業(指定管理者事業を含む)及び収益事業を行う。
指定期間	
H28.4.1 ～ R5.3.31(7年間)	

2 施設名	3 収支(単位:千円)			
長沼公園、平山城址公園、小山田緑地、小山内裏公園、桜ヶ丘公園		令和3年度	令和2年度	公園別支出額
	項目	金額	金額	
	収入計	357,880	324,737	長沼公園:26,961 平山城址公園:19,129
	内 指定管理料	357,880	324,737	小山田緑地:89,661 小山内裏公園:102,071
	内 利用料金	0	0	桜ヶ丘公園:114,396
	支出計	352,218	322,246	
収支差	5,662	2,491		

4 管理運営の概要

○**新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る取組**  
 ・手指消毒液等の設置や園内掲示での注意喚起、職員のマスク着用、うがい手洗い等の徹底、サービスセンター内の換気やパーティションの設置、イベント時の検温、厚生労働省の接触確認アプリ(COCOA)及びTOKYOワクショアプリの利用推奨により、感染症拡大防止対策を徹底しました。

○**豊かな里山環境を保全・創出し、次世代に継承する取組**  
 ・**丘陵地レンジャーを中心に、ボランティア団体との協働や親子向けのイベント等を通じて、生物多様性保全に取組みました。**全公園で外部専門家のよる第三者評価を行い、これまでの活動を高く評価いただくと共に、今後、さらに豊かな自然環境を継承していくための計画づくりに活用しました。  
 ・緊急事態宣言等の発出により、自然観察会等の代替えとして、セルフガイドシートの作成、ホームページやTwitterでの情報発信等を積極的に行い、コロナ禍の中でも里山の自然・文化の魅力や生物多様性保全活動について広く普及啓発しました。

○**東京2020大会開催に伴う新たなスポーツコンテンツの提供**  
 ・東京2020大会の開催により高まったスポーツへの興味関心に応えるため、小山内裏公園ではヨガ教室、子ども向け生物多様性ゲーム、小山田緑地では地元J2チームによるサッカー教室等を行いました。また、**公園協会のアプリ「TOKYO PARKS PLAY」のコンテンツ「パークdeウォーク」を活用したウォーキングイベントを実施**し、コロナ禍の中で丘陵地公園の自然豊かな環境を活かした健康づくりに寄与しました。

○**里山環境を活かした誰もが自由に楽しめる場の提供**  
 ・**コロナ禍の中でも誰もが自由に楽しめるサードプレイスとして、小山内裏公園の「いきいき交流の集い」や桜ヶ丘公園の「SATOYAMAアウトドアライフ」など、公園で寛いだ時間を過ごしていただく取組に力を入れました。**ボランティアや地域住民の協力によるコンサート、職員や近隣図書館司書による読み聞かせ、障がい者就労支援施設の協力によるマルシェ、発生材を活用した竹細工遊びなど、多様なコンテンツの提供によるイベントを定期的に開催し、豊かな自然環境の中で、地域の高齢者や子育て世代などが憩い、交流する場を提供しました。  
 ・**近隣教育施設の特別支援学校や特別支援学級への環境教育アクティビティの提供、地域の小学校と連携したたんぼ保全活動**など、子ども達を通じて地域とのつながりを強め、**里山環境を生かしてSDGsの推進やインクルーシブ社会の実現**に向けて取組みました。

5 管理状況(維持管理)

◆感染症拡大防止対策によるスポーツ施設・バーベキュー広場等の閉鎖対応は、公園利用者への分かりやすい告知と速やかな閉鎖作業により、事故や大きな混乱等なく実施することができました。

◆カシノナガキクイムシによる**ナラ枯れ被害の拡大については、点検結果を地理情報システム等を活用してデータ管理し、園路際や倒木の可能性があるものなど危険度の高いものから計画的に伐採**を行いました。

◆事件・事故が発生した際には、安心・安全な公園環境を提供できるよう、早期解決・復旧に努めました。**小山田緑地で焚火跡やロープ柵破損が発生した際には、警察や消防と連携した対策により再発防止を徹底**しました。

◆近隣住民や公園利用者から**要望・苦情等が寄せられた際には、内容を十分に聞き取り、該当箇所の状況を正確に把握した上で、迅速かつ適切に対応**を行いました。**小山内裏公園にランニングコースを設置してほしいという要望**が寄せられた際には、ウォーキングや自転車での利用も考慮し、**「健康づくりコース」の名称で尾根緑道路面への距離表示を行い、多様なニーズに配慮した新たな魅力づくり**につなげることができました。年末に長沼公園を訪れた公園利用者からのハチの巣を発見したという情報提供には、年明けに速やかに撤去作業を行い、安心・安全な公園環境を回復することができました。

◆豪雨・雪害等に備えハザードマップを更新し、適切な緊急配備体制を継続するなど、きめ細かな気象災害対策を行いました。台風14号の通過により**小山田緑地の隣接民地の土砂崩れが発生した際には、現場と本社が連携**して土地所有者、町田市と調整して被害状況を確認するとともに、園内に流入した土砂については専門業者による撤去作業を行い、**安心・安全な公園環境を速やかに回復**することができました。

◆丘陵地レンジャーを中心に、生物多様性保全活動やモニタリング調査等を、ボランティアや関係機関と連携しながら推進しました。**小山内裏公園では、外部専門家の助言や地理情報システムを用いたデータを活用**し、大田切北サンクチュアリの水辺環境向上に取り組み、**親子ボランティアによる休耕田の管理作業を行うなど、ゲンジボタルやヤマアカガエル等の生育環境を改善**することができました。

6 利用者アンケート結果

実施方法：公園内で調査票を配布・回収/QRコード掲示によるWEBアンケート

施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応
長沼公園	4.8	4.8	4.8	4.7	4.8
平山城址公園	4.8	4.7	4.8	4.8	4.8
小山田緑地	4.8	4.7	4.6	4.7	4.7
小山内裏公園	4.8	4.8	4.8	4.9	4.8
桜ヶ丘公園	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8

7 入園者数の状況(単位:人)

施設名	当該年度	分析
長沼公園	66,174	生物多様性保全に係る取組により、四季を通じて楽しめる自然環境を提供することができました。
平山城址公園	78,925	周辺住民を中心とする利用者により、豊かな自然の中で気軽にレジャーを楽しめる環境を提供しました。
小山田緑地	587,218	たんぼ活動などの里山保全の取組を通じて、生物多様性豊かで魅力的な自然環境を提供しました。
小山内裏公園	1,039,984	多くの世代が気軽に利用できる、緑溢れるオープンスペースを提供し、利用者ニーズに応えることができました。
桜ヶ丘公園	382,783	近隣に住む幅広い世代を中心に、家族連れで安心して楽しめる憩いの場として利用いただきました。
合計	2,155,084	



# 長沼公園

所在地：八王子市／開園面積：36.70ha



多摩丘陵をつなぐ尾根  
変化に富んだ生物多様性豊かな環境

ひとりでも、みんなでも、楽しみながら里山ウォーキング！

事業計画 No.3-②-25、52、53 No.4-イ-1・都-1／評価区分 23



## コロナ禍でも自然豊かな公園の魅力を発信！

感染症拡大防止のため中止にしたガイドウォークの代替えとして、**セルフガイドシートの配布、YouTube、Twitterでの公園紹介動画の配信を実施。**コロナ禍でもいつでも自由に公園散策を楽しんでいただける環境を提供！



## 平山城址公園とつなぐ紅葉ウォーキング！

「きのこ観察会」も同時開催！

緊急事態宣言解除後には、「紅葉の長沼・平山城址公園を歩こう！」を実施。「きのこ観察会」との合同開催として、**地元の自然保護団体のメンバーの協力で菌類が生態系に果たす役割を解説。**

ウォーキング楽しみながら、  
生物多様性の知識も  
学べる“一挙両得”な  
プログラムを提供！

紅葉の長沼公園  
きれいでした♪



## 人の手によるきめ細やかな管理が守る里山環境

事業計画 No.3-③-27、77／評価区分 5



### 生物多様性に配慮した「山の手入れ」を継続

毎日の巡回点検で発見した実生木や支障木は**剪定、伐採作業を適時に行うことで、林床に光の届く明るい雑木林の環境を創出。その様子をTwitter等で随時発信！**多様性豊かな公園の自然環境を紹介するだけでなく、**人の手による管理の大切さも広く普及啓発**することができました。

### ノウハウを活かして美しい竹林景観を守る

これまで培ってきた管理手法を活かし、公園と住宅地との境界付近にある**竹林の間引きや伐採を計画的に実施！**無秩序な竹林の拡大を抑制し、**近隣住民には安心して、公園利用者には見て楽しめる良好な竹林環境を維持**しました。

実生除去と  
ササ刈り作業

景観、日照、林床植物  
等のバランスを考えて  
作業しています



毎日の巡回で竹の繁茂  
状況を把握



## ボランティアや専門家との連携！ みんなで守る生物多様性環境

事業計画 No.3-②-25、No.3-③-73、74、76、81、83 / 評価区分 6、22



### ☆連携その1☆

#### 神代植物公園植物多様性センターと一緒に

神代植物公園植物多様性センターの専門スタッフの助言を受けながら、長沼公園の希少種の中でも自生地の規模が小さいシバヤナギの保護育成に取り組んでいます。

採取した種や育成した苗は、ボランティアと一緒に、自生地や園内のより適した環境への播種、植付けを段階的に実施。園内での希少種の自生地増加により、種の多様性の安定化を推進しました。



協働でシバヤナギの自生地へ植付け



育成した苗

種



### ☆連携その2☆

#### 外部専門家による高評価！ そして・・・

東京大学総合研究博物館の研究事業にも協力する外部専門家が来園し、ボランティアと一緒に、園内6箇所の水辺、雑木林、草地の生物多様性保全状況を見ていただいたところ・・・希少なトンボ類3種の繁殖環境の維持、希少な鳥類の休息・摂食環境の創出等に高い評価をいただきました！ 現地でのいただいた助言を参考に、今後のさらなる生育環境の向上を目指し、将来に向けた計画策定に取り組んでいます。

### ☆連携その3☆

これが一番重要です！

#### ボランティアと一緒に♪「長沼公園のカタクリ」を守り、増やし、楽しんでもらいたい！

長沼公園と言えば、希少なカタクリの群生地として有名です。

コロナ禍の中で、マスク着用、手洗い・消毒、ソーシャルディスタンスの確保など、感染症拡大防止対策を徹底した上で、ボランティアと協働で保全活動を継続しました。

カタクリの生活史に沿うことを信条として行う活動は、踏圧の影響を避けるため、地中でのカタクリの活動が始まる1月中旬までに完了。3月には35,000株ものカタクリが咲き誇り、ふだん入ることのできないA地区を開放。セルフガイドシートを70人に配布！多くの公園利用者に春の長沼公園の風物詩を楽しんでいただくことができました。



ボランティアとの協働によるササ刈り作業



ササ刈りと落ち葉かきで元気に咲きました♪

適切な保全活動により咲き誇るカタクリ



# 平山城址公園

所在地：八王子市／開園面積：12.00ha



歴史ある丘陵地公園  
豊かな緑と水が育む楽園

## 近隣大学の協力で長沼公園とつながるガイドウォークを実施！

事業計画 No.3-②-25、29、52、53 No.4-イ-1・都-1／評価区分 23



### コロナ禍でも公園の魅力を伝えたい！セルフガイドシート配布&動画配信

感染症拡大防止のため中止とした春の植物や歴史めぐりのガイドウォークの代替えとして、セルフガイドシートを作成、配布。10月からは公園紹介動画をYouTube、Twitterにより配信し、自然、人文資源の多く残る公園の魅力を広くPRしました。



公園の旬の見どころを紹介！

セルフガイドシート  
(季節を彩る花)

### 長沼公園から東京農工大学フィールドミュージアム、そして平山城址公園へ似ているようで違っている、豊かな自然環境を体感！

緊急事態宣言解除後、「紅葉の長沼・平山城址公園を歩こう」を実施。多摩丘陵の緑地管理の関係者が参加する「里山情報連絡会」でも連携している東京農工大学教授のご案内で、二つの公園をつなぐ「フィールドミュージアム多摩丘陵」を特別に見学！

長沼公園から徐々に移り変わる植生や、大学の研究の最先端を垣間見られる内容に、参加者の**100%**が満足という結果に！ **大学側にも研究の成果をPRできる機会を提供**でき、連携を強めることができました。



## いきものにも優しい「里山パークビュー」美観ブラッシュアップ！

事業計画 No.3-②-121、No.3-③-7、61／評価区分 5



### 光が差し込む林床を目指した維持管理で、眺望も、環境も改善！

「里山パークビュー」として大切に管理している六国台や猿渡の池ですが、間伐の機会が減って雑木林の中が暗くなっていました。さらに、コロナ禍でボランティア活動を縮小したため、林床にはササや常緑樹の実生が生い茂る状況に・・・これではいけないと、**株物や樹木の剪定、整理**を実施！ **林内に光が差し込み、風通しがよく、良好な眺望を回復！** 多様ないきものたちにも住みやすい環境を整えることができました！



鳥や昆虫が  
飛び回る空間  
になりました！

六国台



猿渡の池



## 外部専門家も評価！ ボランティアと取り組む外来種駆除

事業計画 No.3-③-73、81、88 / 評価区分 6、22



貴重な在来種による生態系を守るために

ボランティアと力を合わせて外来種メドージェを除去！

園内の外部との境界部に、例年、外来種のメドージェが発生し、在来種の生育環境を脅かしていました。春先、ボランティアとの巡回の際に気を付けて見ていたところ、**展葉を発見！** 早速除去作業に乗り出しました。

作業はコロナ禍の中で、マスク着用、手洗い・消毒、ソーシャルディスタンスの確保など、**感染症拡大防止対策を徹底した上で実施**しました。展葉から間もない時期に地下茎から掘り取るという、**メドージェの生活史を十分に把握した効率的な除去作業により、貴重な在来種による生態系を維持**することができました。



とても大変でも大切な作業 みんなで頑張るぞ！

ボランティアと一緒にメドージェを除去



70㎡の草地から、土のう袋7袋分を掘り取りました！



キンラン

ヤマユリ

ノアザミ

とても良好な環境が保たれていますね！



外部専門家の高評価&助言を受けて  
今後さらに取組を広げていきます！

東京大学総合研究博物館の研究事業にも協力する外部専門家が来園。ボランティアと一緒に園内を巡り、7箇所の水辺、雑木林、草地の**生物多様性保全状況**を高く評価していただきました！

トンボを指標種とした陸域と水域双方の環境の変化やその連続性の捉え方など、**今後の保全計画の強化につながる指針が明らかに！** 現地でもいただいた助言を参考に、将来に向けた計画策定を進めます。

持続可能なボランティア活動のあり方も課題ですね



# 小山田緑地

所在地：町田市／開園面積：44.43ha



田んぼと里山が織りなす  
多摩丘陵の原風景

田んぼ活動を通じて地域の里山文化の拠点に！

事業計画 No.3-②-18ほか、No.3-③-71ほか、No.4-イ-8、都-2、自-2／評価区分 22, 23



コロナに負けない伝統的な米作りを継続！



コロナ禍の中でしたが、子どもたちにもできるだけ田んぼ活動に参加してもらえるように、ボランティアと一緒に安全対策を徹底して実施。  
化学肥料の代わりに牛糞や園内で発生した落ち葉等を使用し、地域に残る伝統的な米作りを伝承！



みんなで楽しく  
できました！

特別支援学級の児童に  
「わらない」を伝承！

近隣小学校への“出前講座”で、特別支援学級の児童に、伝統的な「わらない」の技法を伝承。発生材をすべて活用する里山の暮らしや文化を伝える機会に！



地域・ボランティアとともに「収穫に感謝する日」を開催！

コロナ禍の中で、恒例の「収穫祭」を縮小して開催。ボランティアによる田んぼ活動の紹介のほか、地元の農家から公園の取組を盛り上げたいという申出をいただき、野菜の販売を実施。「楽しみにして来ました。」「地元の野菜がたくさんありますね。」と喜ぶ声が多数！



225名 来場！

階段脇に棚田が  
できている🐸

地域でお米やいろいろな野菜を栽培していることが  
分かって、勉強になりました！

サービスセンター内外に  
園内風景&環境を再現！

サービスセンター前に棚田を作成、展示室には谷戸の生きものが暮らす水槽を用意し、誰にでも小山田緑地全体の景観を楽しんでもらえるように！



梅木窪分園の  
カワニナです！



## 地域の子もたちが公園探検！未来に向けた新たな魅力発掘！

事業計画 No.3-②-56、58、No.4-自-3 / 評価区分 23



### 近隣小学校と連携！ みんなで作ろう！探検マップ

小山田小学校3年生が6班に分かれて大久保分園を探検！ 足元の小さな花や水の冷たさなど、ふだん気付かない点をメモや写真で記録して、**班ごとにオリジナルのマップを作成し、子ども目線で公園の新たな魅力を発掘！**



小山田小学校3年生  
**42名**が参加！

### 親子で作ろう！探検マップ 地域と育てる公園へ・・・

親子でマップを作成しながら小山田緑地の里山環境に親しんでいただきました。マップを展示し、**地域の公園として愛着を持ってもらい、未来へ向けて地域と育てる公園の姿をPR！**



ふだん見過ごしていたものが見えて楽しいし、学びがあったよかったです。

## 専門家やNPOと一緒に育んだ豊かな生物多様性環境をPR！

事業計画 No.3-③-73、83、88、102 評価区分 6、7



### 保全の基本！ モニタリング調査

リアルタイムで園内の環境を把握し、**生物多様性環境を守り育てる維持管理に活用！**



### NPOと取り組む 外来種駆除

オオブタクサやセイタカアワダチソウなどの**外来種駆除を、NPOの力を借りて実施！** 貴重種の生育環境を向上させました。



長年活動するNPOは  
気心が知れた、  
頼もしいパートナーです！

### 外部専門家の評価で さらに環境UP!

東京都レッドデータブック植物調査協力者である外部専門家の**助言を受けて、ミスハコベ、アスマツメクサ、タコノアシの保全に着手！**



### 成果の「見える化」 GISを使ってデータを一元管理！

モニタリング調査結果等を**位置情報を含めたデータ**として一元化管理。マップを作成し、公園利用者に提供！



距離も、高低差も  
分かって便利♪



蓄積したデータを利用して  
ガイドします！

### SNSやガイドで情報発信！

生物多様性保全活動の成果として、**季節の生きもの情報をTwitter等で発信！** 公園利用者には、**丘陵地レンジャーが「その場でガイド」**で情報発信！



# 小山内裏公園

所在地：町田市、八王子市／開園面積：45.92ha

人と自然の共生モデル  
ニュータウンに残された  
「聖域」



## コロナに負けるな！ 進化し続ける「いきいき交流の集い」

事業計画 No.3-②-59、60、61、79、88 No.4-都-1、自-1、3、5／評価区分 22、23



### 顔の見える交流！『里山マルシェ』

12月から障がい者就労支援を行うNPO法人が参加し、無農薬栽培野菜の販売を開始。

来園者からは、**購入を通じて活動を支援したいと多数のエールが！**



### 本がつなぐ！『里山移動図書館』

11月から南大沢図書館司書による絵本や紙芝居の読み聞かせ会を開始。

保育園児と高齢者が一緒に楽しめる「**読書のまち八王子**」ならではの、**多世代交流の場が誕生！**



### Let's Join Us! 地域住民が育てる『四季のコンサート』

季節のテーマに沿って、出演者自らプログラムや演出を考えるコンサートを実施。

出演者や参加者からの自薦・他薦により、**地域のヴァイオリンクラブや声楽グループが新たに出演♪ 地域と育むコンサートとして定着！**

一緒に楽しもうよ！

年 **5** 回 **538** 人参加

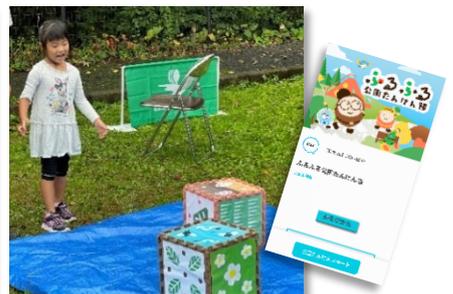
## 遊んで学べる生物多様性 「こうえんコロコロへんシーン！」

事業計画 No.3-②-86 No.4-自-2／評価区分 20



子どもたちに公園がたくさん*のいきもの*の生息地であることを知ってもらうためゲーム形式のイベントを実施。

「TOKYO PARKS PLAY」アプリも一緒に遊んでいきものづくしの楽しいひと時を親子で満喫！



※体を動かすイベントのため、十分な距離が確保できるよう職員が案内誘導を行い、マスク着用が難しい小さなお子様の参加に配慮しました。



## 親子で丘陵地レンジャー体験 「ちょこっとボランティア」

事業計画 No.3-②-58、③-67 No.4-都-3/評価区分 20、22



小学生向けに、丘陵地レンジャー体験を通じて、**親子で自然豊かな環境を守る大切さに触れてもらうイベントを年2回実施。**

**将来的な里山保全の担い手の育成に大成功!?** 参加者の中から未来の丘陵地レンジャーが生まれるよう、今後も継続していきます!



アメリカザリガニが開けた穴からの水漏れを防ぐ、  
サンクチュアリ内休耕田のクロ塗り (8月)



ナラ枯れ被害木処理後の樹林回復を目指す  
コナラ・クヌギの苗木作り (11月)

## 学生の自由な発想で、公園の宝“サンクチュアリ”活用計画!

事業計画 No.3-③-81、87/評価区分 20



東京都立大学の観光科学科の学生チームの発案で、**貴重な生物多様性環境を観光資源として活用する**第一歩として、「**サンクチュアリ活用検討会**」を実施。いきものサークルの学生も巻き込んで、**生物多様性保全の普及啓発について、公園と学生が白熱した議論を展開!**

閉鎖管理しているサンクチュアリを**誰もが身近に体験・観察できる「サテライトビオトープ計画」**が誕生!

入れない場所ならば、逆に環境を外に再現するのは?

自然資源をもっと楽しんでもらいたい

熱い議論の集大成!!

ビオトープづくりなら僕らに任せて!

## 希少なサクラを後世に守り伝えよう! 「サクラ保全プロジェクト」

事業計画 No.3-③-17、19、64/評価区分 6、21



### プロジェクト第1期 (4月~5月)

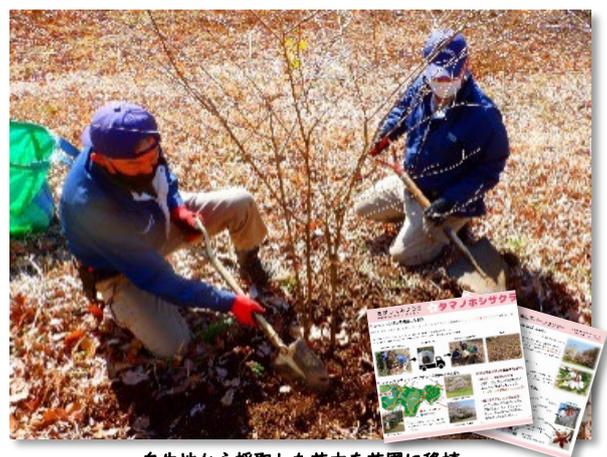
タマノホシザクラ研究者協力のもと、**苗圃を作り、タマノホシザクラとヤブザクラの苗木育成を継続。**5年後の補植を目安に樹勢調査と育苗の記録を開始。

解説板を設置し、**保全活動とサクラの見分け情報を発信。**

### プロジェクト第2期 (10月~3月)

園内東部のヤブザクラ自生箇所、**都立特別支援学校南大沢学園と協働で観察スポットを整備。**周辺林床管理(間伐・皆伐)方針5箇年計画を策定し、**長期安定的な保全作業の土台を構築。**

地理情報システムを活用し「サクラマップ」を作成。**データとしても配布し、分布がわかりやすいと大好評!**



自生地から採取した苗木を苗圃に移植



# 桜ヶ丘公園

所在地：多摩市／開園面積：33.93ha



里山の自然と文化の融合  
地域と育むインクルーシブな丘陵地

## 公園だからこそできるインクルーシブな環境教育の実施

事業計画 No.3-②-56、57 / 評価区分 20



都立特別支援学校向けオーダーメイドの  
環境教育アクティビティ提供！

都立多摩桜の丘学園知的障害教育部門小学部の全6学年**119**人に学年別のテーマや子ども達の成長に応じた環境教育アクティビティを提供！今年度は教員から「新しい活動をしたい」と相談を受け、車いすでも作業しやすいレイズドベッドを、発生材を活用して作成。

3・4年生の連続プログラムでは、子どもたちが丘陵地レンジャーを目指して、木の実遊びや虫探しに挑戦！最終回では、職員が学校を訪問して、丘陵地レンジャーに認定！公園での活動を通じて、地域で学ぶ子どもたちの成長に大いに貢献しました！



レイズドベッドで花壇づくり♪ “たからもの”植物探し♪



子どもたちからマスクケースのプレゼント♪

子どもたちの“ありがとう”が何より嬉しいです

## 居心地のいい“公園時間”「SATOYAMAアウトドアライフ」

事業計画 No.3-②-59、65、87 No.4-1-7 / 評価区分 20



毎月第2日曜日は桜ヶ丘公園へ！

誰もが思い思いに過ごす休日の居場所づくり

地域住民の憩いの場として、10月から「SATOYAMAアウトドアライフ」を定期開催！過去のイベントアンケートから利用者ニーズを分析。紙芝居やぬり絵、竹細工など、誰もが参加しやすく、気軽に楽しめるコンテンツを提供。

アウトドアライフのタイトルにふさわしく、親子で力を合わせて組み立てたスツールで寛いでいただいたことも・・・桜ヶ丘公園の新たな楽しみ方を、参加者と一緒に見つけて、育てていきたいと思っています！



年6回約300人参加



紙芝居は子どもたちに大人気



スツールの組み立てに挑戦！



公園にいるいきものぬり絵



## 地域と共に取り組むヤマザクラ・宇宙桜の後継樹育成

事業計画 No.3-②-79、No.3-③-63、67 / 評価区分 5



### 桜ヶ丘公園の名にふさわしいパークビューを取り戻すために

昨年度から、ヤマザクラと宇宙桜の後継樹育成に取り組んでいます。多摩商工会議所の協力で採取した種を、公園内の苗圃と商工会議所持参のプランターに播種するイベントを開催！ 50周年を迎えた多摩市にも種を提供し、公園内外で苗木を育てる取組をスタート！

昨年度播いた種から育てた苗は別の場所へ植え替え。 さらに、根の周囲に筒状の穴を掘り、炭焼きプログラムで焼いた炭を入れ、空気の通りと土壌の活性化を図り、健全で強い木になるように工夫しながら大切に育てています。



育てた苗はしっかり管理！

## ボランティアや子どもたちと育む生物多様性豊かな里山環境

事業計画 No.3-②-13、52、58ほか No.3-③-28、75、78、80、86ほか / 評価区分 5、6、22、23



### 近隣小学校の子ども達に 里山暮らし体験の場を提供！

感染症拡大防止対策を徹底して、連光寺小学校に稲作、タケノコの収穫、竹材の採取などの環境教育アクティビティを提供！ 地域に住む子どもたちに伝統的な里山暮らしの知識や技能を伝えることができました！



田んぼで刈った稲を干す



慎重に竹を伐ります

### みんなで守ってきた生物多様性環境を 3人の外部専門家が高評価！

外部専門家が、園内3箇所の水辺環境における希少種の保全状況を高く評価！ また、調査のため福岡から上京していた魚類の研究者2名からは、ドジョウなど在来種の保全状況がよいと高評価をいただきました！



外部専門家による評価



### 活動30周年！ 雑木林ボランティアが育んだ健全な里山

「こならの丘」と「田んぼ」で活躍する雑木林ボランティアは、今年度活動30周年を迎えました！

長年に亘る皆伐更新で、「こならの丘」ではナラ枯れ被害が発生しておらず、樹木学会で大変高く評価されました！ 多摩丘陵の緑地管理関係者が参加する「里山情報連絡会」でも好事例として関心が集まりました。

30周年記念誌  
発行！



息を合わせて！



こならの丘での皆伐更新作業



どんぐり祭り 約 **300** 人参加